

第1回 富津公園における「再整備計画」検討会議 議事要旨

1. 開催日時場所

日時：令和6年5月16日（木曜日）午後1時00分から午後2時30分まで
会場：千葉県教育会館3階 303会議室

2. 出席委員

別紙のとおり

3. 傍聴者

5名

4. 会長選任

富津公園における「再整備計画」検討会議設置要綱第4条第2項に基づき、委員の互選により阿部委員が会長に選任された。

5. 議事

(1) 検討会議の設置について・・・・・・・・・・【別添資料1】

事務局 別添資料1に基づき議事概要を説明。

【意見等】 議事に対する意見等なし。

(2) 再整備事業全体の流れについて・・・・・・・・・・【別添資料2】

事務局 別添資料2に基づき議事概要を説明。

【意見等】 議事に対する意見等なし。

(3) 「基本方針」の振り返りについて・・・・・・・・・・【別添資料3】

事務局 別添資料3に基づき議事概要を説明。

【意見等】 議事に対する意見等なし。

(4) 民間ヒアリングの結果概要について・・・・・・・・【別添資料4】

事務局 別添資料4に基づき議事概要を説明。

【意見等】

委員 富津公園近隣には既に多くのグランピング施設があるが、地形を生かした他施設と差別化できるようなアイデアは出たか。宿泊施設に関して、高価格帯とは具体的にどの程度の価格を想定しているか。プールの夜間、冬季利用促進に関しては、具体的にどのような提案があったか。

事務局 グランピングに関しては、富津岬の特徴的な景観が他施設との差別要素になるという意見があった。宿泊施設の価格帯は、事業者によって幅はあるものの、1泊3～5万円程度という意見があった。プールに関しては、既存の屋内プールを活用して、サウナなどを設置し、他の園内のアクティビティと一体で提供する意見があった。

(5) 再整備計画(案)について・・・・・・・・・・【別添資料5】

事務局 別添資料5に基づき議事概要を説明。

【意見等】

委員 現存の明治百年記念展望塔は、雨天時、強風時に利用することができないことや、足の不自由な利用者等にとって上ることが困難であることが課題。千葉ポートタワーのようにエレベーターを設置するなど、誰もがいつでも楽しめる施設にできると良い。また、ジャンボプールは、夏季のみでなく、サウナの導入などにより通年利用が可能な施設になると良い。富津公園はマラソンの聖地ともいわれているため、マラソンコースの整備にあたり、ランナーの意見を聞けると良い。ランナーへのヒアリング調整は、富津市からも協力可能である。富津岬荘に関して、園内の宿泊機能を強化するために、撤去ではなくリノベーションやリニューアルを検討してほしい。宿泊施設のリノベーションに特化した事業者もいるため、そうした事業者との連携も視野に入れると良い。近代遺構に関しては、現在遺構が土や草木に埋まっており活用しきれていないため、適切に整備をして観光客を呼び込めるようなヘリテージングの導入を検討していただきたい。富津市では第二海堡でのツアーを企画しているが、夏季はプール利用の対応で、お願いしているガイドのツアーの対応が間に合わないこともあり、ヘリテージングを実施するにあたって、もっと協力をお願いしたい。

委員 富津公園がさらに賑わいのある施設になると良い。

委員 施設計画に関して、もう少し詳細に計画を知れるとよい。また、施設継続に関しても計画をご教示いただきたい。保安林などは扱いが厳しいと思うが、上手く全体を活用できるよう連携、協力してほしい。

- 委員 富津市観光協会が運営しているキャンプ場は設備の老朽化が進行しているため、その点も踏まえて整備してほしい。また、公園入口付近にある観光案内所には駐車場がなく、利用者は路上に駐車している状態なので、併せて整備をお願いしたい。近代遺構に関して、御壕の水質汚濁が課題となっているため、浄化装置などで対応できないか検討してほしい。現在、第二海堡ではツアー案内はあるということだが、かつては第一海堡も公園から徒歩で訪れることができた。現在は立ち入り禁止になっているが、第一海堡も立ち入ることができるようになれば、戦争遺跡として魅力的なものになると想定されるため、富津公園の整備と合わせて検討してほしい。
- 委員 今後数十年は整備ができないことを念頭に、中途半端にならないような計画を作成してほしい。千葉県はグランピングやコテージは充足しているので、富津岬という特徴を活かした施設をつくってほしい。県が道路や駐車場、水道設備等、最低限インフラ整備を負担し、事業者が参入しやすい環境を整えることが重要と考える。賑わいづくりの観点がやや弱いため、東京湾に面しているということを活かし、港を整備するなど、他の公園にはない魅力をつくると良いのではないか。
- 委員 強風時の対応も必要である。安全対策の観点から、海上保安庁などの意見も聞き、来園者が安心して利用できるような施設整備を進めてほしい。
- 委員 費用を最小限に抑えるためにも施設は計画的に修繕する必要があるので、長期的な修繕計画も併せて作成すると良い。管理に費用がかからないものを整備する視点も必要。
- 委員 海岸区域内における施設の設置に関しては許可が必要となるため、海岸管理の立場から施設設置の可否を判断する。
- 委員 富津公園では砂や風による被害、また潮害から守るために保安林区域として指定されている。アクティビティ等の提案に対しては、具体的な計画を示していただいた上で、保安林の指定目的の達成に影響がないか検討したい。
- 委員 他の施設と差別化できるようなインパクトのある施設や仕掛けがあると良い。
- 委員 富津岬は他の地域と地形や景観が異なるので、類のない公園であると思う。それらを活用し、多くの利用者が楽しめるような場づくりを計画してほしい。
- 委員 人口減少が進行する社会的背景の中で、お金をつくる仕組みづくりが重要であり、県がある程度インフラを整備し、事業者が参画しやすい環境を整える必要がある。今後インバウンド事業が拡大するなかで、1泊3～5万円単位では、高価格帯とは言えない。また、富津岬へ行くまでの道のりや街並みに関しても検討する必要がある。
- 委員 本件では、集客による収益性の担保という視点と、地元にお金を落とすという視点が重要である。集客エンジンの観点からは、ジャンボプールと富津岬荘の継続または新規機能追加の是非が論点となる。過去10年で屋外の公園プールの数は3割減少しており、斜陽産業といえる。夏季のみの運営では費用対効果が低いので、通年型集客施設とするため温浴施設などの導入を検討しても良さそうである。高価格帯の宿泊施設という観点では、リゾートホテルの誘致も良

いのは。千葉県のリゾートホテルの稼働率は昨年 76.8%であり全国一位であった。今後外国人観光客の増加も想定されるため、ポテンシャルがあるのでは。地元が潤うという観点では、地域の海業との連携が考えられる。たとえば、富津漁港は海業振興モデル地区として指定されており、釣船の受け入れや朝市の定期開催等を実施している。また、コテージやキャンプなどを整備する場合、事業再構築補助金等を活用し、やる気のある地元企業に整備、運営を任せる方針が望ましいのではないかと。

委員 富津公園を目的地化する仕組みづくりが必要。現在、富津公園はマラソン聖地となっているが、自動車と並走するコースが望ましいか疑問である。ヘリテージングに関して、遺構を整備し、ガイドを増加することで、教育効果を高めることに繋がるのでは。

委員 施設計画に書き込める意見は追記していただきたい。富津公園において保安林は重要な役割を果たしていると理解しているが、津波に対する効果も想定しているか。

委員 想定している。

委員 津波などを想定し、保安林の保全だけでなく、有事は避難場所ともなる高台のホテルや記念塔の整備なども重要と思う。

委員 ゾーニングに関して、アクティビティの観点から考えるとレイヤーで表現することも考えられる。たとえば、眺望エリアは現在展望塔付近のみ設定されているが、海に面するエリアはすべて眺望エリアといえる。レイヤーを用いてエリアを表現することで、公園全体を満遍なく利用促進できるのではないかと。まずは、出来るところから整備をはじめすることで、気運を高めつつ、最終形態となるマスタープランを描くことが重要。マスタープランを基に統一感のある再整備とすることが重要であるが、鳥居崎海浜公園ではテイストが異なる飲食店があることで、利用層のすそ野を広げているので、複数のテイストを組み合わせることも考えられる。

(6) 事業スキーム(案)について・・・・・・・・・・【別添資料6】

事務局 別添資料6に基づき議事概要を説明。

【意見等】

委員 赤い破線が公園区域ということで、その範囲内で検討するということがよいのか。

事務局 そのとおり。

委員 ゾーニングでは近代遺構の言及があったが、事業スキーム(案)の導入エリアは言及がない。戦争遺構は慎重に扱うべき内容であるが、風化させないことも重要な施設であると考えている。たとえば、賑わい・エントランスエリアに近代遺構を含めるなどして、近代遺構が提案対象から外れないように対応をお願いしたい。

- 委員 事業用定期借地権での土地活用等も事例として参考にしてはどうか。
- 事務局 今回の資料は Park-PFI に特化した説明になっているが、報告書では他スキーム含め検討する。
- 委員 整備の優先順位が重要である。展望塔がリニューアルされれば、話題性も高まるので、戦略的に整備する必要がある。

以上

富津公園における「再整備計画」検討会議 委員名簿（第1回）

番号	委員名	所属・職名等
1	あべ しんた 阿部 伸太	東京農業大学 准教授
2	うちやま たつや 内山 達也	城西国際大学 教授
3	せき ひろゆき 関 寛之	(株)ちばぎん総合研究所
4	なかやま たかひろ 中山 貴弘	富津市 建設経済部 商工観光課長
5	まきの つねお 牧野 常夫	富津市 建設経済部 都市政策課長
6	かすや たつろう 粕谷 達郎	富津市 商工会
7	しいな まこと 椎名 誠	千葉県観光物産協会
8	いしわた たけかず 石綿 竹一	富津市観光協会
9	あいざわ しゅういち 相澤 修一	総合企画部 地域づくり課長
10	たに まさゆき 谷 雅之	環境生活部 自然保護課長
11	あべ やすひろ 安部 康弘	商工労働部 観光政策課長 ※代理出席 室長 鈴木 真(すずき まこと)
12	さとう てつや 佐藤 哲也	農林水産部 森林課長 ※代理出席 副課長 出口 博規(でぐち ひろのり)
13	もりかわ よういち 森川 陽一	県土整備部 河川環境課長 ※代理出席 副課長 河津 進一(かわづ しんいち)
14	じんの まさみ 陣野 正美	君津地域振興事務所長
15	うえの かねみち 上野 兼通	君津土木事務所長

【事務局】

番号	委員名	所属・職名等
1	あひた 直幸	公園緑地課 課長
2	あおやなぎ 修司	公園緑地課 副課長
3	てらだ 巧実	公園緑地課 県立公園室 室長
4	まつなが 文彦	公園緑地課 県立公園室 主査
5	むらい 雄輔	公園緑地課 県立公園室 主事
6	まきの 亜蘭	公園緑地課 県立公園室 主事